

2024年10月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号：8732 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役CFO兼経営管理部長兼人事部長
 宇留野 真澄
 (TEL. 03-4540-3804)

2024年9月次 月次概況（速報）のお知らせ

2024年9月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	503	502	431	395	460	449	519	440	525	480	419	497
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809	95,174	78,390	80,247	89,832	99,180	98,970	84,544	83,817
外国為替取引口座数 (単位：口座)	360,441	361,481	362,428	363,570	364,294	364,914	365,857	366,704	367,482	368,432	369,293	370,506
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976	48,796	49,372	48,928	48,519	46,681	46,442	45,991	45,178
一般顧客	50,017	50,108	47,361	46,860	46,668	47,166	47,240	46,875	45,007	44,821	44,433	43,962
金融法人 (BtoB)	2,368	2,224	2,144	2,116	2,127	2,206	1,687	1,643	1,673	1,621	1,557	1,215
マネバカード口座数 (単位：口座)	154,562	154,386	154,304	154,276	154,275	154,273						

年月	2025年3月期											
	2024年									2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	556	454	473	530	478	513						
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	90,594	105,687	124,056	155,206	171,494	156,027						
外国為替取引口座数 (単位：口座)	371,199	372,637	373,783	375,227	376,621	377,925						
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	43,640	42,885	42,839	41,853	40,403	40,155						
一般顧客	42,611	41,887	41,818	40,926	39,603	39,361						
金融法人 (BtoB)	1,029	998	1,021	926	800	793						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月よりCFD-Metals取引（差金決済取引）の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引（差金決済取引）における預り証拠金及び取引高（売買代金を米ドルに換算）はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。
6. マネバカード事業（資金移動業）は、2023年9月29日をもってサービスを終了しております。

< 9月次の概況 >

外国為替相場は、米ドル/円については、7月3日に1986年12月以来のドル高・円安水準となる161円台後半まで上昇した後は、米国の利下げ観測を背景に下落傾向で推移しております。9月の米ドル/円は、1ドル=146円台前半で取引が始まり、3日には月中高値となる一時147円台前半を付けましたが、16日にはFOMCでの大幅利下げ観測の高まりから一時139円台半ば（月中安値）まで下落しました。その後は、一進一退の動きとなり、17日には8月の米小売売上高が予想外に増加したことで一時142円台半ばまで反発、18日のFOMCでの0.5%の利下げ発表直後は、140円台半ばまで下落しました。27日は自民党総裁選をめぐって荒い値動きとなり、1回目の投票において高市氏の優勢が伝わると、ドル買いが強まり、一時146円台半ばまで上昇も、その後の決戦投票に石破氏が勝利すると、ポジションの巻き戻しが入り一気にドル安が進み142円台前半まで下落、143円台半ばで月末を迎えました。

米ドル/円の変動率は、1日の平均値幅が1.916円（前月は2.156円）となり、前月を下回りました。

このような状況のなか、パートナーズFXnano（以下、nano）では、2023年10月2日より「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて当社所定の注文数量までスプレッド0.0銭（売買同値）の提示を継続しており、「米ドル/円」では1回当たりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを続行しております。

パートナーズFX（以下、PFX）では「米ドル/円」のスプレッド0.2銭の提示を20時間（朝8時から翌4時まで）に拡大し、「米ドル/円」以外の主要通貨を含む18通貨ペアでゴールデンマネバタイム（17時から翌3時まで）に業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施しておりましたが、4月15日から「ユーロ/円」、「豪ドル/円」など主要10通貨ペア、6月21日より残り8通貨ペアのキャンペーンスプレッドを標準化いたしました。

なお、nanoにおいても主要通貨を含む18通貨ペアのキャンペーンスプレッドを6月21日（注）から標準化しております。

（注）nano（第2バンド）の米ドル/円については8時より翌4時までスプレッド0.1銭での提示を7月1日より標準化しております。

9月9日からPFXの「米ドル/円」のスプレッド0.2銭の提示を朝8:00～翌5:00までの21時間に拡大するキャンペーンを実施しております。

以上のとおり、現在当社グループでは、「スプレッド全力宣言」を掲げ、主要各通貨ペアにおいて業界最狭水準スプレッドの提示に取り組んでおります。今後も引き続き、お客様が取引しやすい環境を提供できるよう取り組んでまいります。

また、5月27日から「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「豪ドル/円」をはじめ5通貨ペアを対象にキャンペーン対象期間中に約定した新規買建玉のスワップポイントを最大1ヵ月間大幅増額するキャンペーンを続行しており、この他にも様々なキャンペーンを実施中です。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比9%減少の1,560億通貨単位となりました。営業収益はトレーディング損益が増加した一方、システム関連売上高が減少し、前月比7%増加の513百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に減少し、全体では前月比248百万円減少の40,155百万円となりました。

配当に関しては、1株当たり5.00円とする2025年3月期の中間配当予想を2024年9月20日に公表しております。当社は2023年3月15日開催の取締役会において、配当性向の用途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っており、今回の配当予想はかかる引き上げ後の配当性向の用途に基づいております。なお、中間配当金の正式決定は、本年10月下旬に開催される取締役会において行う予定であります。

当社は、2023年9月15日にスタンダード市場への選択申請書を提出し、10月20日にプライム市場からスタンダード市場へ移行しております。かかる選択申請にかかわらず、プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に掲げた数値目標を据え置くこととし、その達成に向けた各種の取組みにつき適時適切に見直しながら継続的に実行していくことで、将来的にはプライム市場の新規上場基準をも充足する企業へと成長すべく、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

以上